

Lend a Hand
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-9-3 第620回例会 NO.14-9 2003-9-17 発行

◎司会 SAA委員会 根本 泰守

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 吉沢 洋景◎お客様紹介 会長 大松 誠二
無し

◎会務報告 会長 大松 誠二

- ・9月は地区クラブ委員長会議や地区委員会が数多く予定されています。委員長及び地区委員の方々、大変ですが出席よろしく願います。会議の結果については例会で発表していただくか、週報の「委員会だより」に掲載して下さい。
- ・週報には「委員会だより」のほか「会員の声」コーナーがあります。テーマは自由ですので奮って投稿して下さい。



◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

- ・来週9月10日の例会は定款による休会です。お間違いのないようお願いします。
- ・ガバナー公式訪問の際の集合写真が出来まし



た。注文される方は回覧の名簿にご記入下さい。1枚500円。

- ・全日本ロータリー・クラブ会員名簿は本年度よりCDになりました。調べたいことがあれば事務局まで。
- ・IMの登録及び東京調布RC創立40周年の登録は回覧の名簿にご記入下さい。
- ・東京多摩RCの週報を回覧します。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 杉田 誠

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 42名(出席免除者2名)
- ・出席者数 27名
- ・欠席者数 15名(事前MU1名)
- ・出席率 66.67%
- ・欠席者：遠藤 二郎、藤原 正範、萩生田茂夫、桧垣 昭、平野 行廣、伊藤 英也、菊池 敏、北村 幸彦、小林 正、小泉 博、佐伯 和廣、菅井 信夫、高木 淳光、高野 範城、津守 弘範
- ・補填MU：菊池 敏 9/2 東京多摩RC

8/20 最終訂正出席率 90.48%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 萩生田政由

大松 誠二 田中増強委員長、本日の卓話宜しく願います。

藤本 吉文 日中はまだまだ暑いですね。幹事職も2ヶ月が過ぎました。

村上 久 テープの売り上げに協力本当にありがとうございます。

菅井 信夫 突然の出張(茨城県古河市)で欠席!田中貴様の卓話を拝聴出来ず至極残念!まさ

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文

【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝

【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井真司・小田泰機

か、欠席率の向上に寄与・・・と思われるのでは・・・(些かも寄与しているとは、思っておりませんので、ご理解ください。)お詫びに「ニコニコボックス」に協力させて!!!

伊澤ケイ子 9/6歩こう会、天気も良いようです。楽しみにしています。

杉野志保子 高村さん、加藤さん有難うございました。
足立潤三郎 藤本幹事、東京国際カントリークラブチャンピオン準決勝進出おめでとうございます。

関岡 俊二 藤本さん、クラチャン頑張ってください!

萩生田政由 8月の夜間例会欠席してごめんなさい。

本日の合計¥14,000 (累計¥223,357)

◎その他の委員会報告等

・野球同好会

藤本 吉文

明9月5日、多摩東グループ野球大会が開催されます。午後5時半集合です。メンバーもギリギリです。奮ってご参加下さい。

・特別事業実行委員会

副委員長 宮村 宏

広報用チラシが出来ましたのでPRに役立てて下さい。本日午後2時から一本杉公園のテニスコートを下見します。関係者はご集合下さい。

・親睦活動委員会

伊澤ケイ子

花火大会の決算報告を配布しましたのでご覧下さい。9月6日の「よこやまの道歩こう会」、天気も良さそうですのでご都合のつく方は是非ご参加下さい。

◎卓話『何故増強するか』 (提出原稿掲載)

会員増強委員長 田中 實



さて、新しい会員の勧誘に最も必要なのは、入会したくなる魅力がクラブに有るかどうかだと思います。それは頼りになる仲間がいる、

何でも話しやすい、会合に出るのが楽しい、こんな環境だと思います。

これは全会員も同じ考えだと思います。そして魅力ある環境は、会員同士の対等な立場での親睦交流から生まれると思います。私のそんな思いが過日、全員での会員増強にご協力をお願いした訳であります。

五人の方々には世話人を中心に情報交換などしながら、

お知り合いの人、お取引関係の人、ご縁者・ご親類の方などで、是非入会して頂きたいと思う方をご紹介して下さいようお願いいたします。

私も自分自身の責務でも有ります。どうぞ勧誘の為の訪問など、何かと必要なことが有ればお声をかけて頂き、共に行動したいと思っております。

ご承知のようにロータリークラブとは、お互いの職業を理解し合い、その企業上の諸問題を会員相互の衆知を集めて助け合い。自己職業の研鑽に励み、地域社会に貢献するために、得られた利潤の一部をもって地域の発展を志す団体であります。その第一義として会員の拘りの無い心の交流を目指す親睦を掲げております。

つまりロータリーの存在は、自らの職業から得た結果を如何に多くの人々の役に立てられるか、それが地域の発展にどのように役立つかにあると思います。

これは皆さん自身の誇りでもあり、勧誘相手の人にとっても素晴らしい事であります。自信を持って話を進めて頂きたいと願います。

そして適正な会員数に増強が出来れば、クラブ維持の基本的費用は一人当たりの負担は低減され、ロータリー活動も高まり、親睦の機会も増え、新プログラムやプロジェクトの参加者も多くなり、クラブに対する会員の意欲も高まり、結果的に外部の評価が良くなると考えられます。

そして新しく入会された方々の長い貴重な体験と知識は我々への新たな教訓となり、また懇談の機会も増え、お互いの理解と人格育成にも役だつこととなります。そして打解けた色々な対話は社会人としての心理的負担も柔らげられ、また社会奉仕などで汗を流す事は、本来の地位とは異なる体験を通じ、他人を思いやる心が養われると思います。

つまり皆さんの努力で、ますます活性化した素晴らしいロータリークラブとして会員の職業を通じた奉仕活動は地域の繁栄と豊かさを招き、奉仕者にも幸せが得られ、その効果は広く近隣にも広がると信じております。

◎点鐘

会長 大松 誠二

(例会担当：赤尾 恭雄)

ポール・ハリスを我々の心に! Part 4

一応確かな話では、家と店が燃えた事情は次のようなことだった。祖父の店にもお馴染みの風来坊が夜集まってきたが、往々にして昼からもとぐろを巻いていた。彼等のやることと言えば噂話に花を咲かせることで、話の種は上は牧師から下は一般の村人まで及んでいた。この三文弁士は誰はばかることなく、また話の内容には品がなく、種が尽きるとお互いに冗談を飛ばし合っていた。

店の番頭、エイサ・ウエブスターは相当な歳の一風変

わった男で、話すときには絶対に笑わず、直立不動の姿勢で背を伸ばし、もの悲しげな表情をしていた。その様相は、自分の話を疑っている人がいるのではと怪しんでいるようだった。



ウェブスターはウォリングフォードの作り話の名手と言われ、本人もまんざらではなく、その評判を聞いて興味を持った人々が彼の周りに集まり、ウォリングフォードは作り話のメッカとなった。人々はいつも夕方になると店に集まり、ウェブスターの作り話の傑作を真似たり、その芸を盗んでいた。ウェブスターはあくが強くライバルの出現を許さず、もし若手がウェブスターの座を脅かすと、彼は薪をストーブにどんどんくべて部屋を熱くし、相手をいたたまれなくするのだった。火事が起きたのは、ウェブスターが薪をくべすぎたため先ず店が焼け、続いて隣の家を延焼した。

あの大火からどうやって逃れたか聞かれたウェブスターは「シルクハットを被り燕尾服を着て、二、三步走ってはずみをつけ、火焰の中に飛び込み窓ガラスを破って脱出に成功」と答えた。更に「窓ガラスの大きさは」と聞かれると、彼はとっさに「7×9インチ」(16×21センチ)と答えた。こんな真っ赤な嘘が直ぐに口をついて出る程、ウェブスターは嘘つきの天才だった。

その後、祖父は店を再建しなかったが、ウェブスターは道路の向かいに主として子供相手の¢(セント)ストアと自宅を建てた。

ウォリングフォードの小さな専門店はお金にはならないが、社交上では金銭では得られない恩恵があった。つまり老店主にとっては生き甲斐だった。誰もが嫌がる家の掃除より店番の方が楽しだし、一方、店に来る老人達には村のニュースが聞ける楽しみがあった。



(コーナー担当：赤尾 恭雄)

【ロータリー知識】 入門編

ロータリーの特徴

◆ロータリーが他のクラブと異なる点は

- (1) 限定会員制をとる点
- (2) 各会員と各会員の企業とにわたる活動を行う点
- (3) 各会員に各自の職種に職業倫理向上の念を植え付けるべき義務を課する点

◆ロータリーには多くの所説が著され、幾つかの先例が

確立されており、常に念頭におかねばならぬ重要なことが二つあります。

- (1) ロータリーの会合では酒気をおびて議論を行ってはならない
- (2) ロータリーの会合では、発言者は無意味な冗談を話してはならない(この先例のお陰で下品な話が出来ないだけでなく卓話者に対する皮肉まじりの反論等も避けることが出来る)

◆ロータリーに対して自らを与えよ、その限りにおいて与えられん。与えるものを超えて与えられることなし。

Guy Gundaker 著…ロータリー通解…から引用

(コーナー担当：遠藤 二郎)

「ロータリーの友」拾い読みコーナー

ロータリーの友8月号「ROTARY AT WORK (3ページ)」に 2002～2003 年度特別事業「ボランティアってなに？」が掲載、紹介されました。



ココ



『ロータリーの友』8月号《言いたい聞きたい》より

「ポール・ハリス生誕135年に思う」

当クラブ会員 赤尾 恭雄

(冒頭略)

現在ロータリーは1月を「ロータリー理解推進月間」と定め、ポール・ハリスの命日である1月27日を含む一週間を「追悼週間」と位置づけている。このこと自体には、ポール・ハリスをはじめとするロータリーの多くの先人たちの功績をしのび、感謝の念をもってロータリーの理解推進に努めるとの意義を認識する。しかしながら、ポールの生誕から135年を経た今、私たちの心の中では彼は次第に偶像化されつつある。もしかしたら、既に偶像化されているのかもしれない。だからこそ、ロータリーの原点から遊離して危機が叫ばれるような事態が、存在するのかもしれない。今、「人間ポール・ハリス」を私たち一人ひとりの心に呼び戻すことこそ、ロータリーの原点回帰にはかならない。彼がこの世に生を受けなければロータリーの歴史はなく、今日のロータリーも存在し得なかったことである。

(中略)

従って、ポール・ハリス生誕の4月19日を含む記念週間を設けて、その理解を強調することが求められよう。節目の生誕135年さえ忘れ去られたような今のロータリーには、私は殊更に危機感を覚える。

(コーナー担当：高木 淳光)

<多摩東グループ野球大会(9/4)>



調布むらさき9:多摩グリーン5

..惜敗しましたが、ヒット、好プレーで大健闘でした。..

<よこやまの道を歩こう会(9/6)>



過ぎて往く夏を惜しむかのように、激しい蝉しぐれのなか、よこやま道を歩こう会のメンバーは汗まみれとなって、無事ゴールした。冷えたビールが快い疲れを溶かしていった、残暑の午後の至福のひとつときでした。

会・員・の・声

<日本では外車の新車は乗れなかった>

杉田 誠

1945年日本が敗戦し1960年まで日本では外車の新車輸入が禁止されていました。その理由の一つは、国産車の保護及び育成という国策でした。ただ当時は大量の米国進駐軍が存在し、米国車及び一部ヨーロッパ車の需要は当然ありました。輸入禁止の枠外として存在したのは軍人、軍属、各国の公館及び駐在員でした。特例として日本の観光及び報道業、ハイヤー、タクシー、新聞社、放送局も一定の枠内で認められておりました。この需要に応えるため設立されたのが外車ディーラーです。以下のディーラーが輸入、販売、アフターサービスをしておりました。首都圏では(ヤナセ)キャデラック、ビュイック、VW、メルセデスベンツ、ボルボ(東邦モータース)オールズモビル、オペル(伊藤忠オート)シボレー、アルファロメオ、シンガー、ハンバー(日英自動車)ポンテアック、MG(国際興業・安全自動車)クライスラー、ダッチ、プリムス(ニューエンパイヤーモータース・アメリカンモータース)リンカーン、マーキュリー、フォード(日本自動車)フィアット...それでは日本人は外車をいかに乗れたかは次回にいたします。



<秋の野の花>



彼岸花(曼珠沙華)

秋ですね.....